

# 令和2年度学校自己評価システムシート (県立狭山清陵高等学校)

目指す学校像	たかい知性、豊かな人間性、たくましい心身を育む学校
--------	---------------------------

重点目標	1 能動的な学習による学力の向上と3年計画の進路指導による進路実現 2 基本的な生活習慣の一層の向上と地域に愛され信頼される学校づくり 3 視野を広げる国際理解教育の推進と学校行事・部活動の充実
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	4名
	事務局(教職員)	5名

学校自己評価					年度評価(2月1日現在)		
年度目標					年度評価(2月1日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	○基本的な学力の定着が必要不可欠であるが、近年特別支援を要する生徒が増加傾向にあり、対応が必要である。 ○新入生が中学校との違いを理解し、高校生活を円滑に始められるような取り組みが必要である。	○生徒が授業により能動的に参加できる取り組みを実施する。	①学力向上や特別支援教育に関する職員研修会を実施する。 ②新入生に対し、中学校との違いを説明し、高校生活を円滑に始められるように導く。	①職員研修会を実施したか。 ②新入生が高校生活を円滑に始められたか。	○生徒が授業により能動的に参加する取り組みを実施できた。 ・新型コロナウイルス感染症拡大による計画の変更があったが、特別支援教育やオンライン授業、ICT活用に関する研修会を実施した。 ・臨時休校の影響などで新入生全体へのガイダンスは実施しなかったが、ホームルームや授業等を活用して新入生が高校生活を円滑に始めることができた。	A	○学力向上の取り組みや各種職員研修会、新入生へのガイダンスを引き続き行う。 ○新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、学校行事等の適切な配置、生徒が目標を持って学校生活を送れる体制づくりが必要である。 ○臨時休校などでも学習等を継続できる体制づくり、感染症流行の中でも安心して学校生活を送れる環境づくりが必要である。 ○新しい学習指導要領の実施等に向けて準備を進める。
	○早い時期から高校卒業後の進路に向け、計画的に準備する生徒が増加しているが、まだ不十分である。 ○進路便りを定期的に発行し、最新の情報を伝える必要がある。	○一人ひとりの生徒に将来設計について考えさせ、進路目標を持たせる。	①生徒へのガイダンスや保護者会などで進路情報の提供をスムーズに行う。また、進路希望実現のため、面接指導や小論文指導を行う。 ②進路便りの発行により情報を提供し、生徒の進路に対する意識を高める。	①それぞれのガイダンスや各種指導の場面で適切な指導が行われたか。 ②進路情報が適切に提供され、進路指導に役立てられたか。	○それぞれの生徒に進路目標を持たせることができた。 ・コロナ禍ではあったがガイダンスの実施や様々な進路情報の提供、担任団を中心とした細やかな対応により、適切な進路決定に導くことができた。	A	○各種情報提供やWeb出願などに対応するためのオンライン環境の整備が必要である。 ○コロナ禍や入試改革、例年と異なる行事予定など、様々な変化への対応が求められており、学校全体での取り組みが必要である。
2	○全校集会や登校指導などの継続的な取り組みにより、全体として落ち着きつつあるが、安全面やモラルに関する啓発活動が必要である。	○基本的生活習慣の確立と集団生活におけるマナーやモラルの確立を図る。	①全校集会や全学年による頭髪服装検査を実施する。 ②全校集会やHRを通じての、公共施設・交通機関の利用に関する注意喚起を行う。 ③登校指導の充実と交通安全講話を実施する。	①教職員全体で生徒指導に取り組めたか。 ②生徒の公共施設等の利用について、マナーを守った行動を取れたか。 ③登校指導や交通安全講話を実施できたか。	○基本的生活習慣や様々なマナーやモラルの確立を図れた。 ・全校集会を開けない中、生徒全体・学校全体が落ち着きを見せつつある。 ・SNS講演会を学年別に行い、モラルの向上を図れた。 ・登校指導などにより、生徒指導上のトラブル防止の効果が始めている。	A	○学校全体としての生徒指導の取り組みを明確にし、落ち着いた学校生活に向かう活動を継続する。 ○SNSや公共施設の利用におけるマナーやモラルの意識を更に高めていく必要がある。 ○朝の登校指導などにより、安全面の指導を継続する必要がある。 ○人間関係の構築が苦手な生徒が増えており、対応が必要である。
	○学校説明会などを通じて、中学生や保護者に本校の魅力を発信してきたが、教員の負担軽減のため、回数や実施時期を検討する必要がある。 ○アンケート(生徒対象・保護者対象)について、日々の指導等に活かすことが課題である。	○保護者や地域、中学生等に、本校の取り組みを理解してもらい、地域に愛され信頼される学校づくりを進める。	①学校説明会などの内容、回数等を工夫し、これまで同様に本校の魅力を中学生やその保護者に伝える。 ②アンケートの結果をもとに、各指導や学校運営に生かす。	①学校説明会などにおいて昨年度並みの参加者があり、生徒募集活動につながったか。 ②アンケートを活用した指導等が行えたか。	○保護者などに本校を理解してもらい、地域に信頼される学校づくりを進められた。 ・生徒募集計画を大幅に変更した。12月までに学校説明会を3回実施し、参加者数は昨年度(12月までに5回)よりも約50名増加した。 ・アンケート結果を職員全体で共有した。	A	○創立40周年に向けて、PTA・後援会・同窓会と連携する。 ○新型コロナウイルス感染症の状況を見据えながら、生徒募集活動の取り組みを進める。 ○各種アンケートについては引き続き結果を共有し、日々の指導に活かすことが必要である。
3	○生徒の国際社会への視野を広げる。特に来年度に予定されている姉妹校への派遣と受け入れについての準備を計画的に行う。	○生徒が国際社会・国際交流に対する知識や理解を深められるようにする。	①昨年度実施した姉妹校への派遣および受け入れを主とした報告集の作成を行う。 ②留学生講演会・青年海外協力隊講演会を実施する。	①報告集が作成・発行できたか。 ②国際理解教育に関する各行事が実施されたか。	○生徒の国際社会に関する理解を深めることができた。 ・報告集の発行は年度末の完成を目指している。 ・各行事は当初の予定が変更され、年度内に実施予定である。	A	○来年度の姉妹校への派遣と受け入れの見通しが立たない中ではあるが、生徒の国際交流に関する知識や理解を深められるような取り組みが必要である。
	○行事等の運営において、生徒会本部役員や各委員会の委員が主体的に取り組むことが必要である。 ○小中学校や地域との交流を引き続き深めていく。	○生徒が組織的に物事に取り組み、主体的に活動する。	①生徒会本部や各委員会が主体的・計画的に物事に取り組めるよう指導する。 ②部活動等が地域行事に参加したり、小中学校と交流できるように促す。	①生徒による自主的な活動が行われたか。 ②地域行事への参加や小中学校との交流が行われたか。	○生徒が組織的・主体的に活動することができた。 ・文化祭の中止など制約がある中、教師の助言を得つつも、文化部発表会や三送会など生徒が主体的に行事に取り組めた。 ・地域行事への参加や小中学校との交流は行われなかった。	A	○来年度の各種行事については見通しが立たない部分も大きいですが、行事をととして生徒がより充実感を持てるような計画を立てたり、多くの生徒が協力できる態勢をつくる。 ○近隣の小中学校や地域との交流を深めていく。

学校関係者評価	実施日 令和3年2月19日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達に課題のある生徒は年々増加傾向にあると思われるので、特別支援教育の視点を持つことは全ての生徒にとってプラスに作用します。(評議員)</li> <li>・学習をする中で授業中マスクを外している状態で話す人がいるので、注意してほしい。(生徒)</li> <li>・1年生が今までよりも遅いスタートの中でも学校生活に慣れてきたのは良かったが、数学のテストの平均点が下がるなど授業の取り組みがおそろそかになっているように感じる。(生徒)</li> <li>・卒業後の進路についての指導も幅広く情報を提供してくれた。オンライン説明会もとても助かった。(保護者)</li> <li>・進路関係のガイダンスが多いので助かっています。面接や小論文の対策に取り組んでいくことで進路に対する意識が少しずつ変わっていくと思います。(生徒)</li> <li>・マナーやモラルの確立はやはり生徒自身の意識改革が重要なので、その指導もぜひお願いしたい。(評議員)</li> <li>・コロナ禍のため生徒募集計画が二転三転する中、参加者数が増加したことはすごいことだと思います。(評議員)</li> <li>・コロナ対策を早期から行ったことで校内での発生やクラスター等がなく安心して学校生活を送れていると思う。(保護者)</li> <li>・服装検査を増やしていくと、皆が正装に近づくのではないかと思います。(生徒)</li> <li>・学校に伺うときに頭髪や服装が目立つ生徒は見かけず、みんな元気に挨拶してくれたことが印象的だった。(保護者)</li> <li>・人間関係のトラブルは集団生活の中で乗り越えるべきものだと思うので、解決方法を考えていきたい。(生徒)</li> <li>・海外研修や地域との交流ができないのは残念ですが積極的に行動して将来につなげていきたいです。(生徒)</li> <li>・コロナ禍で行事の制約はありますが、生徒たちの高校生活の思い出が少しでも充実したものになるよう、バックアップしていきたいと思います。(保護者)</li> <li>・生徒会主催の行事ができたのは良かったが、生徒みんなの充実感が満たせるような行事があればよかったです。(生徒)</li> <li>・更なる地域貢献として、市主催の清掃活動などへの参加を実施されたいかががでしょうか。(評議員)</li> </ul>